

平成27年度分

行政評価結果報告書【別冊】

# 【事業評価票】

《実施計画事業1～205》

平成28年7月

印西市

## 基本目標 1

恵まれた自然の中でやすらぎを  
持って生活できるまちをつくる

《生活環境》

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	1
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	環境基本計画の推進事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境保全班		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	環境基本計画の推進事業、環境保全事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1 自然環境の保全と活用、1 - - 1 環境負荷の低減	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	1 - - 1 自然環境の保全と活用 恵まれた自然環境を保全し、地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し水辺や里山、谷津などを適切に維持・管理するしくみづくりを進めていきます。また、市民が自然に親しみ、環境について学ぶ機会を提供していきます。 1 - - 1 環境負荷の低減 ごみの減量化(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築を図るとともに、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成25年度～平成33年度		
	事業の実施目的及び概要	環境基本計画に基づき、市民・事業者・行政が連携・協働し、計画の個別目標の達成に向けた取り組みを実践することにより、環境負荷の低減を図る。また、その内容を環境白書にまとめ広く市民等に公表する。環境白書を作成するに当たっては、環境審議会、環境推進会議からの意見を踏まえ作成する。		
	対象	印西市全域		
	根拠法令・関連計画等	印西市環境基本条例		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・環境白書の作成(計画の進行管理) ・環境審議会、環境推進会議の運営	・環境白書を作成 ・環境審議会3回、環境推進会議10回開催	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度		積算額 (当初予算額)					4,057,268
		予算現額					4,057,268	4,057,268
		決算額					3,629,768	3,629,768

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	個別目標の達成に向けた取り組み件数	件	目標値	32	94	94	94
			実績値	32	85	88	確定後公表
		目標値					
		実績値					
成果指標	環境白書内の個別目標における環境指標の達成件数	件	目標値	32	41	41	41
			実績値	21	27	30	確定後公表
	環境白書内の個別目標における環境指標の達成率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	66	66	73	確定後公表
	目標値						
	実績値						

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	未だ目標値を達成していない項目はあるが、目標値に近づいてきている項目は増えている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	取り組みは着実に進めており、徐々に成果は現れてきている。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	環境基本計画において対象とする環境の範囲は「自然環境」「生活環境」「都市環境」「地球環境」と様々な分野における事業の継続が必要であり、今後も継続して事業に取り組む。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	2	
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	自然環境保全意識の啓発		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境保全班		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	環境基本計画の推進事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1 自然環境の保全と活用	スマイルプラン スマイル1	
	施策の方向性	恵まれた自然環境を保全し、地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し水辺や里山、谷津などを適切に維持・管理するしくみづくりを進めていきます。また、市民が自然に親しみ、環境について学ぶ機会を提供していきます。		
事業内容等	事業年度	平成15年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	自然環境調査の実施により、動植物の生息・生育種数を継続的に把握・公表することで自然環境の保全意識の高揚を図るとともに、里山の保全を中心とした生物多様性地域戦略の策定を検討する。また、自然観察会(いんざい自然探訪)などを通して、市民に自然への関心を持ってもらうことにより、自然環境保全の意識高揚を図る。		
	対 象	市民		
	根拠法令・関連計画 等	環境基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いんざい自然探訪の実施(年5回)</li> <li>・里山調査(市民団体協力)</li> <li>・自然環境調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然探訪を年5回実施(参加者122名)</li> <li>・里山保全活動団体が主催するイベント等の支援(広報掲載等)</li> <li>・市民活動団体による里山調査の実施(年10回)</li> <li>・自然環境調査を実施</li> </ul>	

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						10,840,000	10,840,000
		予算現額						8,886,000	8,886,000
		決算額						8,866,000	8,866,000

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	自然探訪実施回数	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	4	3	3	5
			目標値				
			実績値				
成果指標	自然探訪参加人数	人	目標値	150	150	150	150
			実績値	57	57	60	122
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	平成27年度は、「夏休み自然教室シリーズ」として、小学生向けの自然観察会を4回開催し、参加者が大幅に増えた。また、5年に一度程度で定期的実施している、動植物の生育・生息調査を実施した。平成28年度も引き続き、小学生向けの企画を実施し、将来を担う子どもたちに自然の大切さを啓発していくとともに、市民団体の協力のもと里山調査を実施していく。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

<b>1. 事業の概要</b>			<b>事業番号</b>	<b>3</b>
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	自然科学体験学習事業		
	担当部署名	教育部指導課 教育センター		
	款項目及び予算名	9款1項4目 教育センター費	新市基本計画	
	予算事業名	子供の学び支援事業 自然科学体験学習事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1自然環境の保全と活用	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	恵まれた自然環境を保全し、地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し水辺や里山、谷津などを適切に維持・管理するしくみづくりを進めていきます。また、市民が自然に親しみ、環境について学ぶ機会を提供していきます。		
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	自然観察や科学実験等の体験学習を通して、科学的な見方や自然を愛する心情を育てる事業を実施する。		
	対 象	市内在住の小中学生とその保護者		
	根拠法令・関連計画 等	印西市教育センター設置及び管理に関する条例		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	計6回の講座を開催する。 里山観察会(春) 里山観察会(秋) 産学官連携科学講座「ジュニアアカデミー」 星空観望会 わら細工体験教室 科学実験講座(東京ガスと連携)	計6回の講座を実施した。受付開始日に定員に達する講座がほとんどで、総参加者は215名であった。講座実施後のアンケートでも参加者の満足度及び再参加希望度が高かった。	

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						624,000
予算現額							624,000	624,000
決算額							596,596	596,596

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	講座開催回数	回	目標値	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6
	募集組数	組	目標値	120	120	120	120
			実績値	102	120	108	99
成果指標	満足度(講座終了後のアンケート調査による)	%	目標値	90	90	90	90
			実績値	98	100	98	100
	参加率	%	目標値	90	90	90	90
			実績値	85	85	90	90
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	現行のとおり継続して実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	4
------	---

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	草深の森維持管理事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境保全班		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	草深の森等維持管理事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 1 自然環境の保全と活用	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	恵まれた自然環境を保全し、地域の生態系を維持していくため、市民、事業者、行政が連携し水辺や里山、谷津などを適切に維持・管理するしくみづくりを進めていきます。また、市民が自然に親しみ、環境について学ぶ機会を提供していきます。		
事業内容等	事業年度	平成10年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	市民ボランティア等による維持管理やイベントの開催を通じて、草深の森等を市民の憩いの場や自然学習の場として広く市民に利用してもらい、環境保全意識等の高揚を図る。さらに、別所・大森地先の山林等の維持管理を行う。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	印西市市民の森の設置及び管理に関する条例、印西市市民の森の設置及び管理に関する条例施行規則		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度		・清掃及び維持管理(市民ボランティア等の参加による維持管理) ・イベントの開催	・NPOによる植生を活かした維持管理、清掃7回(延べ46人) ・NPO主催イベント8回(519名)、市主催イベント1回(29名)

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額					3,151,000	3,151,000
		決算額					3,010,127	3,010,127

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	イベント開催回数	回	目標値	3	3	3	3
			実績値	2	2	11	9
	ボランティア清掃実施回数	回	目標値	1	1	1	1
			実績値	0	1	5	7
成果指標	イベント参加人数	人	目標値	130	130	130	130
			実績値	50	92	471	548
	ボランティア清掃参加人数	人	目標値	50	50	50	50
			実績値	0	30	36	46
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	A 目標値を上回る	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	A 計画以上の事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	市民活動団体等の協力により、草深の森を活用したイベントの実施、下草刈り等の整備が進み、キンラン等の林床植物も増えてきている。今後も引き続き、市民団体等の協力を得ながら、市民の憩いとなるような森の整備活用を進めていく。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	5
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	(仮称)木下交流の杜公園等整備事業	
	担当部署名	都市建設部都市整備課 整備班	
	款項目及び予算名	7款3項3目 都市公園整備事業	新市基本計画
	予算事業名	都市公園整備事業	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 緑と創造の活用	スマイルプラン
	施策の方向性	市民の心がやすらぐおいしいのある快適な生活空間の形成に向け、公園・緑地の整備や充実に計画的に進めていくとともに、市民等との協働による維持管理を推進していきます。	
事業内容等	事業年度	平成25年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	印旛高校跡地に眺望を活かした広場やスポーツも行える多目的な広場等を整備する。	
	対 象	市民	
	根拠法令・関連計画 等	印旛高校跡地活用基本計画	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木下交流の杜広場整備工事</li> <li>・(仮称)木下交流の杜公園基盤整備工事</li> <li>・木下万葉公園拡張部整備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広場整備工事を完了した。</li> <li>・当年度分の公園基盤整備工事を完了した。</li> <li>・公園拡張部の整備工事を完了した。</li> </ul>

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)		85,500,000				193,354,000
予算現額			39,900,000				188,954,000	228,854,000
決算額			39,900,000				157,237,207	197,137,207

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	実施設計進捗率		目標値		100	100	
			実績値		30	100	
	用地取得率		目標値			100	
			実績値			100	
	工事進捗率		目標値			50	100
			実績値			50	100
成果指標			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	平成28年度:(仮称)木下交流の杜公園基盤整備工事 平成29年度:(仮称)木下交流の杜公園整備工事

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	6
------	---

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	公園施設の管理		
	担当部署名	都市建設部都市整備課 管理班		
	款項目及び予算名	7款3項3目 公園緑地維持管理事業	新市基本計画	
	予算事業名	既存公園の整備事業 / 市民参加による公園管理事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 緑と創造の活用	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民の心がやすらぐおいしいのある快適な生活空間の形成に向け、公園・緑地の整備や充実を計画的に進めていくとともに、市民等との協働による維持管理を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	既存公園の遊具や公園施設の補修を行うことにより、市民のニーズに対応した、安全で魅力ある公園等の整備に努める。		
	対象	都市公園 3人以上の参加者から構成される、原則として美化活動を年に2回以上、かつ2年以上継続して実施することができる団体、公園等愛護活動に意欲的な団体、その他市長が特に認めた団体のいずれかを満たす団体		
	根拠法令・関連計画等	印西市緑の基本計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・遊具の点検 ・老朽化した遊具、公園施設の修繕	遊具等公園施設の点検を行い、危険度の高い公園施設の修繕を行った。また、ボランティア団体への用具等の提供を行い、市民等との協働による公園の維持管理を推進した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度	平成27年度	積算額 (当初予算額)				74,359,000		74,359,000
		予算現額				74,359,000		74,359,000
		決算額				74,359,000		74,359,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	公園施設日常点検回数	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
			目標値				
			実績値				
成果指標	日常点検遊具修繕率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
	公園改修率(近隣公園)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
	公園施設を原因とした怪我の件数	件	目標値	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	遊具の点検・修繕については今後も継続することとする。 また、市民等との協働による公園維持管理を、美化活動団体の協力を得ながら推進していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	7
------	---

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	緑の基本計画の策定・推進		
	担当部署名	都市建設部都市整備課 管理班		
	款項目及び予算名	7款3項3目 公園緑地維持管理事業	新市基本計画	
	予算事業名	緑の基本計画の策定・推進業務委託	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 緑と創造の活用	スマイルプラン	
	施策の方向性	市民の心がやすらぐおいしいのある快適な生活空間の形成に向け、公園・緑地の整備や充実を計画的に進めていくとともに、市民等との協働による維持管理を推進していきます。		
事業内容等	事業年度	平成12年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	ゆとりとうるおいのある生活環境を形成するために、一定の目標のもとに都市公園の整備、緑地保全地区の指定など総合的な施策を体系的に位置づけ、緑地の保全・創出を図ることを目的とする。またこの計画に基づき、市民・企業・行政が一体となり体系的、総合的に施策を展開する。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	都市緑地法		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	緑の基本計画の基礎調査における情報収集	新計画策定に向け、必要な既存資料の収集を実施した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
			平成27年度	積算額 (当初予算額)				
		予算現額						0
		決算額						0

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	緑の基本計画の基礎調査	%	目標値	0	0	100	0
			実績値	0	0	0	0
	緑の基本計画改定業務	%	目標値	0	0	0	100
			実績値	0	0	0	0
成果指標			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	E 活動なし	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	E 事業実績・成果なし	平成33年度から新計画の実施に向け、方針及び課題を整理し、平成31、32年度で改定業務を実施していく。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	平成33年度の緑の基本計画の策定に向け、今後、方針及び課題を整理し業務を実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	8
------	---

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	ごみの減量化・資源化の推進事業		
	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 クリーン推進班		
	款項目及び予算名	4款2項1目 清掃総務費	新市基本計画	
	予算事業名	ごみ減量化・再資源化推進事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 1 環境負荷の低減	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	ごみの減量化(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築を図るとともに、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成元年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	環境負荷の低減に資する循環型社会の実現を目指し、市民へのごみ減量化意識の啓発活動の実施や小売店との協力体制の確立を図り、ごみの減量化・資源化を推進する。		
	対象	市民、高齢者クラブ、子ども会、PTA、事業所、その他団体		
	根拠法令・関連計画等	第2次印西市ごみ減量計画(平成24年度～平成32年度)		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>不用品情報交換事業</li> <li>市民説明会の実施</li> <li>エコライフ実践事業(マイバッグ推進、廃食油拠点回収、生ごみ処理機等購入費補助等)</li> <li>有価物集団回収奨励金の交付</li> <li>大型生ごみ処理機導入実証実験</li> <li>廃棄物減量等推進員制度</li> <li>小学生向け啓発物資の配布</li> <li>使用済小型電子機器等の再資源化</li> <li>ごみ減量等に関する情報発信(ごみ分別アプリ、3R推進シンポジウム)</li> <li>3R推進対策調査(事業点検)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の不用品情報を広報紙等に掲載し、11件の譲渡成立が図れた。</li> <li>町内会等のほか各種団体に、延べ17回、809人に出前講座を行った。</li> <li>イベント等において、マイバッグ使用の啓発を行った。</li> <li>廃食油を約6トン回収し、資源化を図った。</li> <li>生ごみ処理機等購入の48世帯に補助金交付を行った。</li> <li>有価物集団回収奨励金事業により、約1,967トンの資源化が図れた。</li> <li>集合住宅1団地に大型生ごみ処理機を設置し、実証実験を行った。</li> <li>廃棄物減量等推進員99人がごみ減量等に関する活動を行った。</li> <li>小学4年生を対象にごみ出しルール等を記載した自由帳を作成した。</li> <li>使用済小型家電を約3トンを回収し、資源化を図った。</li> <li>スマートフォン用アプリを利用して、ごみ分別等の情報を配信した。</li> <li>シンポジウムを開催し、市民のごみ減量等の意識向上を図った。</li> <li>ノウハウを持った団体から市の事業内容について助言等をもらった。</li> </ul>	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)			630,000		240,000	32,354,000
予算現額				630,000		240,000	26,297,000	27,167,000
決算額				505,000		240,000	23,293,717	24,038,717

3. 指標及び実績値

指標内容	単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			目標値	実績値	目標値	実績値
活動指標	生ごみ処理容器等購入費補助金交付件数	件	100	49	110	44
			120	108	130	114
	有価物集団回収奨励金交付団体数	団体	120		130	
			108		110	
成果指標	一人一日あたりのゴミの排出量	人/g日	841	895	825	899
			17.5	15.0	18.1	14.5
	市資源化率	%	17.5	15.0	18.1	14.5
			23.8	20.7	24.6	20.3
	総資源化率	%	23.8	20.7	24.6	20.3
			20.7		20.6	

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	生ごみ処理容器等について、事業の啓発は引き続き行っており、27年度の交付件数は増加したものの、社会全体のニーズそのものが薄れていると考えられ、目標値までには至っていない状況である。
成果に対する評価	C 目標値をやや下回る	一人一日あたりのゴミの排出量について、家庭ごみは減量傾向(H26年度709g H27年度698g)となってきたものの、事業系ごみが増加傾向(H26年度190g H27年度193g)となっている。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	出前講座の実施や廃棄物減量等推進員制度の創設など、市民への啓発活動を充実させたことにより、市民の減量意識は向上しているものと考え、今後は事業系ごみの減量が課題と考え、その対策にも力を入れて取り組んでいきたい。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	ごみの減量化・資源化の推進は、ごみ処理経費の節減や資源循環型社会の構築等の理由により必要不可欠である。 今後の取組みについては、基本的には現計画に記載の事業の実施及び充実を図ることで、成果指標を向上していきたいと考える。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	9
------	---

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	印西クリーンセンター施設整備事業の促進				
	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 次期中間処理施設対策室				
	款項目及び予算名	4款2項2目 塵芥処理費	新市基本計画			
	予算事業名	印西地区環境整備事業組合負担金	主要事業			
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1 環境負荷の低減	スマイルプラン	スマイル1		
	施策の方向性	ごみの減量化(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築を図るとともに、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていきます。				
事業内容等	事業年度	平成21年度～平成32年度				
	事業の実施目的及び概要	廃棄物の安全・安定的な処理を継続するため、印西地区環境整備事業組合が実施するクリーンセンター(廃棄物中間処理施設)の施設更新を関係機関と連携し促進していく。				
	対象					
	根拠法令・関連計画等	印西地区環境整備事業組合同約				
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
		平成27年度	負担金の拠出	印西地区環境整備事業組合において、次期中間処理施設整備事業について、施設整備基本計画検討委員会及び地域振興策検討委員会の両委員会から今後の整備案等の答申が出された。		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					1,024,106,000	1,024,106,000
		予算現額					810,268,000	810,268,000
		決算額					810,268,000	810,268,000

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	会議開催数		目標値			12	20
			実績値			8	20
			目標値				
			実績値				
成果指標	廃棄物中間処理施設の更新を促進し、廃棄物の安全・安定的な処理を継続する。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	印西地区環境整備事業組合による清掃工場の建設は、ごみ処理において必要不可欠である。 引き続き、組合及び他の構成市町と連携し、事業促進を図る。

# 平成27年度分 実施計画事業評価票

## 1. 事業の概要

事業番号	10
------	----

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	住宅用省エネルギー設備設置費補助事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境保全班		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	住宅用省エネルギー設備設置費補助事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 1 環境負荷の低減	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	ごみの減量化(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築を図るとともに、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成17年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	地球温暖化の防止等環境への負荷低減のため、太陽光や太陽熱エネルギーなどの再生可能エネルギーの導入を進めるとともに、燃料電池や家庭用蓄電池、エネルギー管理システム、電気自動車充電設備などの家庭における省エネルギー化を実現する「エコ住宅」の普及拡大を図るため、設置者に補助金を交付する。		
	対象	市内において、住宅用省エネルギー設備を設置しようとする者		
	根拠法令・関連計画等	印西市環境基本計画(平成25年度～平成33年度)		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	住宅用省エネルギー設備に対する補助(太陽光発電システム、太陽熱利用システム、エネファーム、蓄電池、HEMS、V2H)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム 216基(累計1445基)</li> <li>・太陽熱利用温水器 3基(累計49基)</li> <li>・エネファーム 172基(累計300基)</li> <li>・蓄電池 22基(累計45基)</li> <li>・HEMS 38基(累計110基)</li> <li>・V2H 2基(累計3基)</li> </ul>	

## 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	予算現額		34,400,000			18,611,000	53,011,000
		決算額		34,654,000			17,531,072	52,185,072

## 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	住宅用省エネシステム等設置促進のPR	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	2	3	3	5
			目標値				
			実績値				
成果指標	太陽光発電システム設置基数(累計)	基	目標値	651	834	1,017	1,200
			実績値	766	984	1,229	1,445
	太陽熱利用温水器設置基数(累計)	基	目標値	40	50	60	70
			実績値	39	41	46	49
	家庭用燃料電池(エネファーム)設置基数(累計)	基	目標値		65	185	305
			実績値		30	128	300

## 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

## 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も引き続き、省エネ設備の設置補助を進めていく。 なお、県及び近隣市の動向や対象設備の価格等を踏まえ、補助単価等については見直しを検討していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	11
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	合併処理浄化槽設置事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境保全班		
	款項目及び予算名	4款1項6目 環境衛生費	新市基本計画	
	予算事業名	合併処理浄化槽設置事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1 環境負荷の低減	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	ごみの減量化(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築を図るとともに、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	昭和62年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付し、普及促進を図る。		
	対象	市内において下水道法(昭和33年法律第79号)第4条第1項の許可又は同法第25条の3第1項に基づき策定された区域(下水道の整備が7年以上見込まれない地域を除く。)以外の地域において、専用住宅等に浄化槽を設置しようとする者。		
	根拠法令・関連計画等	浄化槽法・印西市環境基本計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	高度処理型合併処理浄化槽への補助 ・浄化槽設置補助 ・単独槽転換補助 ・蒸発散装置補助(市単) ・汲み取り転換補助	・浄化槽設置補助 75基 ・うち 単独転換補助 8基 ・うち 蒸発散装置補助 4基 ・うち 汲み取り転換補助 4基

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
		予算現額	11,267,000	11,699,000			13,857,000	36,823,000
		決算額	11,267,000	11,579,000			13,501,196	36,347,196

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	合併処理浄化槽設置促進のPR	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	3	5	5	5
			目標値				
			実績値				
成果指標	合併処理浄化槽普及率	%	目標値	78	80	82	84
			実績値	79	80	81	81
	設置基数(補助対象処理槽累計)	基	目標値	2,948	3,034	3,120	3,206
			実績値	2,968	3,074	3,167	3,242
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	循環型社会形成推進地域計画、市の実施計画とも、ほぼ計画どおりの設置数であり、現行のまま継続で問題はない。しかし、内訳については、新設への補助の実施有無、転換を促進するための方針等を検討する必要がある。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要

事業番号	12
------	----

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地下水汚染対策事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境指導班		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	(大)地下水汚染対策事業(中)地下水汚染対策事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1 環境負荷の低減	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	ごみの減量化(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築を図るとともに、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成6年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	地下水汚染が確認されている浦部地区の汚染除去対策・効果判定業務の実施及び小林地区の汚染の確認のための水質調査並びに浄化対策の検討を実施する。		
	対象	市民(対象地区)		
	根拠法令・関連計画等	印西市環境保全条例		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<浦部地区> 汚染物質除去装置による汚染除去および汚染源周辺の民家井戸のモニタリング等 <小林地区> 地下水汚染除去対策	<浦部地区> ・汚染源の観測井及び民家井の地下水モニタリング調査及び汚染対策に伴う地盤沈下調査(測量)を実施 <小林地区> ・汚染源及び周辺の民家井のモニタリング調査を実施	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度	予算現額			682,000			11,116,000	11,798,000
	決算額			682,000			10,935,972	11,617,972

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	浦部地区地下水汚染除去対策	試料	目標値	129	129	129	129
			実績値	145	148	148	145
	小林地区地下水汚染機構解明モニタリング	試料	目標値	36	36	36	36
			実績値	36	33	36	30
成果指標	テトラクロロエチレン(浦部)	mg/l	目標値	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下
			実績値	0.0230	0.0620	0.0089	0.0097
	トリクロロエチレン(浦部)	mg/l	目標値	0.03以下	0.03以下	0.03以下	0.03以下
			実績値	0.016	0.066	0.005	0.003
	シス1,2ジクロロエチレン(浦部)	mg/l	目標値	0.04以下	0.04以下	0.04以下	0.04以下
			実績値	0.180	0.510	0.220	0.150

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	シス1,2ジクロロエチレンについては、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレンの分解の過程で生成する物質と考えられる。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、汚染の除去が進んだ際には、事業の完了を検討していく必要がある。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	13
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	竹袋焼却場跡地環境対策事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境保全班		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	焼却場等跡地環境対策事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1 環境負荷の低減	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	ごみの減量化(リデュース)・再利用(リユース)・再生利用(リサイクル)と適正処理を推進し、資源循環型社会の構築を図るとともに、低炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。また、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁や土壌・地下水汚染への対策を進め、地球環境への負荷低減を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成14年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	竹袋焼却場跡地の廃棄物が、周辺環境へ影響を及ぼすことが無いよう、適切な対策を講じていく。		
	対象	印西市竹袋地先		
	根拠法令・関連計画等	共同命令適用以前に設置された一般廃棄物最終処分場の埋立終了に係る指導指針		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・モニタリング調査の実施	・モニタリング調査を実施 1箇所において「ほう素」、「鉛」が環境基準値を超えて検出された。昨年度、環境基準値を超えた箇所が増えたため、今年度は測定回数を増やして様子を觀察した。

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度						1,687,000	1,687,000
							592,000	592,000
							591,840	591,840

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	モニタリング調査回数	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	2	2	2	2
	モニタリング調査サンプル数	箇所	目標値	14	14	14	14
			実績値	14	14	14	14
	モニタリング調査項目数	項目	目標値	28	28	28	28
			実績値	28	28	28	28
成果指標	環境基準値達成率 (不達成箇所/全箇所)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	93	57	86	93

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も引き続きモニタリング調査を実施し、周辺環境への影響を注視していく。また、焼却場として廃止するには、対策工を実施する必要があり、その検討を進めていく必要がある。

平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	14	
事業名及び担当部署等	実施計画事業名	クリーン印西推進運動事業		
	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 クリーン推進班		
	款項目及び予算名	4款2項1目 清掃総務費	新市基本計画	
	予算事業名	クリーン印西推進運動事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 2 環境美化の推進	スマイルプラン スマイル1	
	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりを市民等の協力を得ながら推進し、ごみのない美しいまちをめざします。		
事業内容等	事業年度	平成6年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	「みんなでつくる 美しいふるさと いんざい」をテーマに、市・市民・事業所等が一体となり、ごみの散乱防止及び空き缶等の清掃を実施し、地域美化を推進する。		
	対象	町内会・自治体・高齢者クラブ・子ども会・学校・事業者・その他団体		
	根拠法令・関連計画等	印西市環境基本計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・クリーン印西推進デーの実施(毎月第1月曜日) ・春のゴミゼロ運動(1都10県で一斉実施) ・秋のゴミゼロ運動(市内で一斉実施)	町内会・自治会等414団体に参加の呼び掛けを行い、下記のとおり参加があった。 ・クリーン印西推進運動 158団体、延べ84,063名 ・春のゴミゼロ運動 195団体、12,762名 ・秋のゴミゼロ運動 161団体、9,610名

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
平成27年度	積算額(当初予算額)					223,000	4,380,000	4,603,000
	予算現額					223,000	4,118,942	4,341,942
	決算額					192,000	3,709,515	3,901,515

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	クリーン印西推進運動の広報・参加呼びかけ	回数	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
		目標値					
		実績値					
成果指標	クリーン印西推進デー参加者数	人	目標値	47,295	48,240	49,185	50,130
			実績値	77,160	89,554	77,525	84,063
	ゴミゼロ運動(春、秋)参加者数	人	目標値	20,047	20,848	21,649	22,450
			実績値	25,101	13,025	22,252	22,372
	クリーン印西推進運動における回収ごみ量	t	目標値	73	71	69	67
			実績値	62	52	63	62

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	ゴミゼロ運動やクリーン印西推進運動では、町内会・自治会を中心に協力を得られているものの、参加の呼び掛け数に対して、実際の参加団体は半数以下にとどまっている。広報や啓発を強化して参加団体の増加を図り、地域美化のさらなる向上につなげる必要がある。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	15	
事業名及び担当部署等	実施計画事業名	歩行喫煙及びポイ捨て等防止対策事業		
	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 不法投棄対策班		
	款項目及び予算名	4款2項1目 清掃総務費	新市基本計画	
	予算事業名	歩行喫煙、ポイ捨て等防止事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 2 環境美化の推進	スマイルプラン スマイル1	
	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりを市民等の協力を得ながら推進し、ごみのない美しいまちをめざします。		
事業内容等	事業年度	平成19年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	清潔で快適な生活環境を確保することを目的に、歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例に基づき、きれいなまちづくりを推進することが特に必要と認められる公共の場所を重点区域として指定し、指導員を配置してパトロールを実施する。		
	対象	市、市民等、事業者、土地所有者等		
	根拠法令・関連計画等	印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例・印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例施行規則		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	・指導員によるパトロールの実施 ・違反者に対する指導・勧告等 ・啓発活動の実施	指導員によるパトロールを239日行い、市内全域において2,321件の指導を行った。 職員にて催事及び重点区域を中心に啓発活動を行った。

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					6,665,000	6,665,000
		予算現額					6,665,000	6,665,000
		決算額					6,577,150	6,577,150

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	指導日数	日数	目標値	312	312	312	312	
			実績値	278	280	290	239	
	歩行喫煙及びポイ捨て等防止に関する広報・周知	回数	目標値	14	14	14	14	
			実績値	6	6	6	6	
	成果指標	市内全域における指導件数	件	目標値	804	750	700	650
				実績値	1,831	2,156	2,076	2,321
目標値								
実績値								

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	指導員に係る予算確保や広報紙の紙面確保等に限りがあり、目標値には至らなかった。
成果に対する評価	D 目標値を下回る	歩行喫煙や吸い殻入れ不携帯に対する指導件数が多い状況である。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例の周知と理解が不十分である。

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す(拡大)	指導件数が目標値を大きく上回る状況が続き、歩行喫煙やポイ捨てに対する市民の意識改革が進んでいない。啓発を兼ね、指導員の活動日数を週5日から6日に増やし、指導件数を目標値に近づけたい。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	16
------	----

1. 事業の概要

事業名及び担当部署等	実施計画事業名	不法投棄対策事業		
	担当部署名	環境経済部クリーン推進課 不法投棄対策班		
	款項目及び予算名	4款2項1目 清掃総務費	新市基本計画	
	予算事業名	不法投棄対策に要する経費	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 2 環境美化の推進	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりを市民等の協力を得ながら推進し、ごみのない美しいまちをめざします。		
事業内容等	事業年度	平成13年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	産業廃棄物・一般廃棄物等の不法投棄に対し、早期発見・早期対応するための各種施策に取り組み、快適な生活環境を保全する。		
	対象	谷津地及び山林を中心とした市内全域		
	根拠法令・関連計画等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄監視カメラ及びフラッシュライトの運用</li> <li>地元町内会等との協働による投棄物撤去</li> <li>委託業者、市職員による監視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視カメラ(35台)、フラッシュライト(固定式監視カメラに設置)の運用</li> <li>不法投棄物協働撤去(4件)</li> <li>職員による不法投棄夜間パトロールの実施(206回)</li> <li>不法投棄等監視パトロール業務委託(100回)</li> </ul>

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額(当初予算額)		237,000			4,940,000	5,177,000
		予算現額		237,000			4,205,498	4,442,498
		決算額		158,000			3,955,608	4,113,608

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	職員による不法投棄監視パトロール	回	目標値	24	24	20	18
			実績値	6	13	6	206
	委託による不法投棄監視パトロール	回	目標値	160	160	130	117
			実績値	160	0	100	100
	道路散乱ごみ回収パトロール	回	目標値	200	220	200	200
			実績値	200	200	94	0
成果指標	不法投棄確認件数	件	目標値	350	300	200	137
			実績値	351	322	212	132
	市民等からの不法投棄通報件数	件	目標値	73	66	60	54
			実績値	78	68	49	46
				目標値			
				実績値			

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	道路散乱ごみ回収パトロールは土木管理課へ移行したため0回となったが、職員による不法投棄監視パトロールは、夜間パトロール(年6回)のほか、他の業務と兼ねてほぼ毎日行っている。
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	監視カメラの効果的な運用やパトロール、啓発看板の貸与等により不法投棄件数が減少してきた。しかし、新たに不法投棄される場所も見られるため、監視カメラの増設や不法投棄パトロール場所の見直しが必要である。道路散乱ごみ回収パトロールは、27年度以降は道路管理担当課である土木管理課が行っている。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要				事業番号	17
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	四季の花の景観づくりの推進			
	担当部署名	企画財政部ふるさとづくり推進課 ふるさとづくり推進班			
	款項目及び予算名	2款1項6目 企画費	新市基本計画		
	予算事業名	四季の花の景観づくり推進事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 環境美化の推進	スマイルプラン	スマイル1	
	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン伊西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりを市民等の協力を得ながら推進し、ごみのない美しいまちをめざします。			
事業内容等	事業年度	平成24年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	うるおいのある生活空間の創出に向けて、公園や沿道などにおける花壇づくりや植栽を奨励し、花等による彩りあるまちづくりを市民や事業者等とともに進めます。			
	対 象	市内			
	根拠法令・関連計画 等				
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花による景観まちづくり庁内推進会議の実施</li> <li>・ホームページ(いんざい花だより)の運営</li> <li>・庁舎玄関前等への花植えプランタの設置</li> <li>・花壇づくり団体支援事業(市民・団体へのプランタ・種苗等の無料配布)</li> <li>・北総花の丘公園などの関係団体との連携(種苗のやりとり・相互情報提供など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花による景観まちづくり庁内推進会議の実施</li> <li>・ホームページ(いんざい花だより)の運営</li> <li>・庁舎玄関前等への花植えプランタの設置</li> <li>・花壇づくり団体支援事業(市民・団体へのプランタ・種苗等の無料配布)</li> <li>・北総花の丘公園などの関係団体との連携(種苗のやりとり・相互情報提供など)</li> </ul>		

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					221,000	358,000
予算現額						221,000	373,049	594,049
決算額						221,000	373,049	594,049

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	協働団体数 目標値は検討により設定	団体	目標値		2	3	5
			実績値		1	6	6
	花のホームページ更新回数	回	目標値		12	12	12
			実績値		15	21	21
	庁内会議開催数	回	目標値		3	3	3
			実績値		2	1	0
成果指標	実施箇所数 目標値は検討により設定	箇所	目標値		3	3	5
			実績値		3	6	11
	投稿情報数		目標値		12	15	18
			実績値		14	20	21
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	現状のまま事業を実施し、更に協働団体を増やすことを目標とする。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	18
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	花いっぱい運動の推進		
	担当部署名	都市建設部都市整備課 管理班		
	款項目及び予算名	7款3項3目 花いっぱい運動推進に要する経費	新市基本計画	
	予算事業名	花いっぱい運動推進に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 環境美化の推進	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりを市民等の協力を得ながら推進し、ごみのない美しいまちをめざします。		
事業内容等	事業年度	平成18年から実施		
	事業の実施目的及び概要	コスモスの種等を市民の団体に配布し、印西市のシンボルとなっているコスモスを市内に咲かせることで、うるおいのある美しい街の創成を目指す。		
	対 象	市内の小中学校、幼稚園、保育園、自治会・町内会等の団体		
	根拠法令・関連計画 等	印西市緑の基本計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	・コスモスの種の配布 ・公園美化活動団体への花苗の提供	印西市の花であるコスモスの種を小中学校や幼稚園・保育園、市民の団体に配布した。昨年度より団体だけではなく市民個人の方にも種を配布し、市内各所にコスモスを咲かせることができた。また、公園美化活動団体へ花苗等の提供を行い、花のある美しい街づくりに貢献することができた。	

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					221,000	1,727,000	1,948,000
		予算現額					221,000	1,727,000	1,948,000
		決算額					221,000	1,727,000	1,948,000

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	事業内容の広報及びホームページ掲載数		目標値	1	2	2	2
			実績値	0	2	2	2
		目標値					
		実績値					
成果指標	配布団体数		目標値	60	70	80	90
			実績値	0	61	70	67
		目標値					
		実績値					

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	配布団体数としては、目標値をやや下回っているが、平成26年度より、市内の団体の他、個人へもコスモスの種を配布することにより、市内の各所にコスモスの花を咲かせることが出来、成果に対する評価としては、方向性は保たれている。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	コスモスの種配布を団体だけでなく、市民個人に配布することにより市内各所に咲かせることができ、また美化活動団体への花苗提供により、環境美化に対する高揚を図り、美しいまちづくりを継続することができる。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	19
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	空き地等管理指導事業		
	担当部署名	環境経済部環境保全課 環境指導班		
	款項目及び予算名	4款1項7目 環境保全費	新市基本計画	
	予算事業名	(大)空地等管理指導事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 環境美化の推進	スマイルプラン	スマイル1
	施策の方向性	環境美化に対する意識の高揚を図るとともに、ポイ捨てや不法投棄の防止に向けた対策を強化していきます。また、クリーン印西推進運動やゴミゼロ運動、花を活用した魅力あるまちづくりを市民等の協力を得ながら推進し、ごみのない美しいまちをめざします。		
事業内容等	事業年度	平成22年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	空き地の良好な衛生環境を確保し、もって生活環境の保持及び向上に寄与することを目的に、空き地に繁茂し、放置されている雑草等の除去に関し指導を行う。		
	対 象	市民(対象地区)		
	根拠法令・関連計画 等			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	現場の確認等	現場の確認を行うとともに、土地所有者に適正管理するよう依頼文を送付する。 平成27年度相談 54件(延べ 71件)	

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						
予算現額								0
決算額								0

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	現場の確認	件	目標値	↘	↘	↘	↘
			実績値	58	75	46	63
	土地所有者への適正管理要請数	件	目標値	↘	↘	↘	↘
			実績値	58	75	46	63
成果指標	現場確認及び指導により生活環境の保持及び向上を図ることを目標とする。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	<b>B ほぼ目標値どおりである</b>	通報に基づき、現場確認及び土地所有者へ適正管理を依頼した。
成果に対する評価	<b>F 計画なし(目標設定なし)</b>	土地の適正管理は所有者の責務であり、市で成果指標を設定することが困難であるため。
総合的な評価	<b>B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった</b>	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	今後も引き続き、事業を実施し、生活環境の保持及び向上を進めていく必要がある。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

<b>1. 事業の概要</b>				<b>事業番号</b>	<b>20</b>
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	地域防災意識の高揚			
	担当部署名	総務部防災課 防災班			
	款項目及び予算名	8款1項5目 災害対策費	新市基本計画		
	予算事業名	防災意識啓発事業 自主防災組織助成事業	主要事業		
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 1 防災体制の充実	スマイルプラン	スマイル2	
	施策の方向性	災害等の被害が最小限に抑えられるよう、市民一人ひとりの防災・危機管理意識の高揚に努めるとともに、地域における自主防災組織の育成や防災情報等の伝達機能、避難対策の強化など防災体制の充実に図っていきます。			
事業内容等	事業年度	昭和37年度から実施			
	事業の実施目的及び概要	災害発生時の被害を最小限に抑えることを目的に、地域防災計画に基づき、自主防災組織の結成促進や活動を側面から支援するとともに、地域における防災体制の確立及び防災意識の高揚を図る。			
	対 象	市民			
	根拠法令・関連計画 等	災害対策基本法、印西市地域防災計画			
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果		
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織に対する助成</li> <li>・総合防災訓練の実施</li> <li>・防災ホームページの運用</li> <li>・自主防災組織の育成支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織への補助</li> <li>活動助成... 67団体 1,265,300円</li> <li>設置助成... 3団体 1,415,880円</li> <li>・総合防災訓練の実施(平成27年10月18日 滝野中学校)</li> <li>・自主防災組織リーダー研修会の実施(平成28年2月6日実施)</li> </ul>		

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						5,956,000
予算現額							4,906,000	4,906,000
決算額							3,477,609	3,477,609

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	自主防災組織結成の周知	回	目標値	2	2	2	2
			実績値	1	2	2	2
	防災関連記事の広報紙・HP掲載	回	目標値	15	15	15	15
			実績値	14	13	24	20
成果指標	自治会に対する自主防災組織の結成率	%	目標値	48	50	53	55
			実績値	50	48	50	53.25
	自主防災組織訓練等参加者数 (延べ人数)	人	目標値	5,000	5,200	5,500	5,700
			実績値	6,995	5,123	5,900	6,162
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	引き続き、自主防災組織結成を促すとともに、組織の機能強化を図る。

平成27年度分 実施計画事業評価票

			事業番号	21
<b>1. 事業の概要</b>				
事業名及び担当部署等	実施計画事業名	防災体制の強化事業		
	担当部署名	総務部防災課 防災班		
	款項目及び予算名	8款1項5目 災害対策費	新市基本計画	
	予算事業名	災害対策事務に要する経費・災害応急対策資機材整備事業・災害用井戸整備事業	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 1 防災体制の充実	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	災害等の被害が最小限に抑えられるよう、市民一人ひとりの防災・危機管理意識の高揚に努めるとともに、地域における自主防災組織の育成や防災情報等の伝達機能、避難対策の強化など防災体制の充実に図っていきます。		
事業内容等	事業年度	昭和37年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	災害発生時の被害を最小限に抑えることを目的として、防災施設の整備など、防災体制の強化を図る。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	災害対策基本法、印西市地域防災計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災井戸の整備</li> <li>・緊急情報発信システムの運用</li> <li>・災害情報連携システムの運用</li> <li>・非常用備蓄食糧の確保及び災害用資機材の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急情報発信システムの運用</li> <li>・災害情報連携システムの運用</li> <li>・非常用備蓄食料の購入及び災害用資機材の購入</li> </ul>	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					7,953,000	46,006,000	53,959,000
		予算現額					0	36,739,960	36,739,960
		決算額					0	26,285,769	26,285,769

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	緊急情報発信システム周知回数	回	目標値	10	10	10	10
			実績値	8	8	3	10
			目標値				
			実績値				
成果指標	緊急情報発信システム登録人数	人	目標値	10,000	11,500	12,500	14,000
			実績値	9,535	9,592	9,763	9,790
	防災非常食の備蓄数	食	目標値	74,000	77,300	80,300	83,300
			実績値	74,000	78,184	84,930	64,838
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	D 目標値を下回る	システム登録人数が増加はしているが目標値に達することができなかった。また、非常食購入契約において、納入業者の不履行があり、目標値を達成できなかった。
総合的な評価	C 計画をやや下回る事業実績・成果であった	目標値を達成できなかったことによる。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	緊急情報発信システムの登録者数増加に向けた取組みを継続的に行う。また、防災非常食の備蓄について、計画的に対応していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	22
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	消防団運営事業		
	担当部署名	総務部防災課 防災班		
	款項目及び予算名	8款1項2目 非常備消防費 / 8款1項3目 消防施設費	新市基本計画	
	予算事業名	消防団運営活動に要する経費 / 消防団配備車両整備事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 消防・救急体制の充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	迅速かつ確かな消防・救急活動が行えるよう、消防職員の育成・確保や計画的な緊急車両等の整備を進めています。また、消防団の組織や消防施設・設備等の充実を図り、地域の消防・救急力を強化していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和23年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	消防団は、地域防災体制の中核的存在として地域の安心・安全のため、大きな役割を果たしていることから、消防団の活動しやすい環境づくりを目指し、時代に即した活動内容、組織等の見直しを行うとともに、消防体制の充実を図る。 老朽化している消防団配備車両及び施設等を計画的に整備する。		
	対象	消防団員		
	根拠法令・関連計画等	消防組織法・消防車両更新配備整備計画		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種災害等に対応するための訓練の実施</li> <li>災害等を軽減するための啓発活動</li> <li>機能別消防団員の周知・募集</li> <li>施設等の整備(小型ポンプ積載車3台)</li> <li>消防団器具庫改築1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>器具庫点検 1回</li> <li>火災予防運動 年2回</li> <li>機能別消防団員 1名加入</li> <li>消防団小型ポンプ積載車 3台新規購入</li> <li>消防団器具庫新築解体工事設計業務委託 1件</li> </ul>	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					0	96,490,000	96,490,000
		予算現額					2,616,000	88,945,000	91,561,000
		決算額					2,066,000	83,864,106	85,930,106

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	消防団車両更新台数	台	目標値	2	3	4	4
			実績値	2	3	3	3
	訓練実施回数	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	4	4	5	1
成果指標	消防団車両更新台数	台	目標値	3	4	4	4
			実績値	2	3	3	3
	訓練参加者数	人	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500
			実績値	865	2,229	2,446	122
	消防団員数	人	目標値	772	772	772	772
			実績値	704	686	683	674

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	C 目標値をやや下回る	天候等の影響により、消防団員に対する訓練回数が目標値を下回った。
成果に対する評価	D 目標値を下回る	計画的に消防団員の訓練を行い、火災等に対する対応力を強化する必要がある。消防団員の確保に向けた取組みを進める必要がある。
総合的な評価	D 計画を下回る事業実績・成果であった	計画的に消防団員の訓練を行い、火災等に対する対応力を強化する必要がある。消防団員の確保に向けた取組みを進める必要がある。

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
2 事業を見直す	消防団員の確保及び資質の向上を図るための方策を再検討する。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	23
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	防火水槽整備事業		
	担当部署名	総務部防災課 防災班		
	款項目及び予算名	8款1項3目 消防施設費	新市基本計画	
	予算事業名	防火水槽整備事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 2 消防・救急体制の充実	スマイルプラン	
	施策の方向性	迅速かつ的確な消防・救急活動が行えるよう、消防職員の育成・確保や計画的な緊急車両等の整備を進めていきます。また、消防団の組織や消防施設・設備等の充実を図り、地域の消防・救急力を強化していきます。		
事業内容等	事業年度	昭和39年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	火災発生時において、迅速かつ円滑な消火活動を行うため、消防水利未充足地に防火水槽を整備するとともに、既存防火水槽の補修・撤去を実施する。		
	対象			
	根拠法令・関連計画等	消防法・消防水利の基準		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
		平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性貯水槽の設置 60t...3基</li> <li>既設防火水槽の改修 60t...2基</li> <li>既設防火水槽の補修及び撤去...随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性防火水槽の新設 60t...3基</li> <li>既設防火水槽の改修 60t...3基</li> <li>既設防火水槽の補修及び撤去...1基</li> </ul>

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					53,966,000	53,966,000
		予算現額					60,921,600	60,921,600
		決算額					50,518,103	50,518,103

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	新設耐震性貯水槽設置数	基	目標値	1	1	2	2
			実績値	1	1	0	3
	防火水槽改修数	基	目標値	4	2	2	2
			実績値	2	1	2	3
成果指標	消防水利充足率	%	目標値	↗	↗	↗	↗
			実績値	97.7	98.0	98.1	98.2
				目標値			
				実績値			

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	防火水槽の新設・改修については、消防活動に支障のないよう継続的に実施していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

		事業番号	24	
<b>1. 事業の概要</b>				
事業名及び担当部署等	実施計画事業名	防犯対策事業		
	担当部署名	市民部市民安全課 安全パトロール班		
	款項目及び予算名	2款1項13目 諸費	新市基本計画	
	予算事業名	防犯対策に要する経費	主要事業	
基本計画における位置付け	関連する施策名	1 - - 3 防犯対策の強化	スマイルプラン スマイル2	
	施策の方向性	「自らの安全は自ら守る、地域の安全は地域で守る」ことを基本理念として、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図っていきます。また、市民、事業者、行政及び関係行政機関等の相互連携による防犯活動や防犯施設の整備等により犯罪の抑止に努めていきます。		
事業内容等	事業年度	平成元年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	防犯講習会の実施及び広報紙等による啓発活動を通じて、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、市民、事業者、行政、警察等関係団体と協働した防犯活動や青色回転灯付車両による防犯パトロールの実施、防犯カメラや防犯灯等の整備を行うことにより、犯罪を抑止し、安全で安心なまちづくりを推進する。 また、暴力団等を排除するための取り組みとして、市の公共事務事業の規定整備を推進することや、事業者が自主的な暴力団の排除に取り組むために必要な情報の提供に努める。		
	対象	市民・事業者		
	根拠法令・関連計画等	印西市安全で安心なまちづくり推進条例、同施行規則、印西市暴力団排除条例		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防犯活動の推進</li> <li>市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載</li> <li>各種防犯啓発活動の実施</li> <li>防犯灯の整備・維持管理</li> <li>街頭防犯カメラの設置及び運用</li> <li>警備会社委託による地域安全パトロールの実施</li> <li>暴力団排除啓発活動の実施</li> </ul>	パトロール実施回数 243回(警備会社委託によるパトロール回数) 町内会の管理する防犯灯に対する補助数 884灯 町内会から移管された防犯灯数 7,297灯(平成26年10月から) その他、市ホームページへの市内犯罪発生状況の掲載、警察と連携しての防犯啓発活動、防犯講話の実施	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
							平成27年度	積算額 (当初予算額)
		予算現額					119,826,000	119,826,000
		決算額					100,268,019	100,268,019

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
活動指標	地域安全パトロールの実施 (青色灯搭載車による)	日	目標値	145	240	240	240	
			実績値	206	243	243	243	
	町内会等の管理する防犯灯に対する補助	灯	目標値	7,760	7,840	7,920	8,000	
			実績値	8,019	8,160	8,181	884	
成果指標	刑法犯認知件数(窃盗犯)	件	目標値	1,000	970	930	900	
			実績値	875	942	778	635	
				目標値				
				実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	防犯灯の移管により、町内会管理から市の管理になったため、補助金が減少した。
成果に対する評価	A 目標値を上回る	印西市内の刑法犯認知件数(窃盗犯)が778件から、635件になり、143件減少した。
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	刑法犯認知件数は減少傾向であるものの、防犯灯の管理、防犯パトロール及び啓発活動を今後も継続し、更なる減を目指す。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要		事業番号	25
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	防犯拠点施設運営事業	
	担当部署名	市民部市民安全課 安全パトロール班	
	款項目及び予算名	2款1項13目 諸費	新市基本計画
	予算事業名	防犯活動拠点施設運営費	主要事業
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 3 防犯対策の強化	スマイルプラン スマイル2
	施策の方向性	「自らの安全は自ら守る、地域の安全は地域で守る」ことを基本理念として、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図っていきます。また、市民、事業者、行政及び関係行政機関等の相互連携による防犯活動や防犯施設の整備等により犯罪の抑止に努めていきます。	
事業内容等	事業年度	平成18年度から実施	
	事業の実施目的及び概要	行政と地域住民及び関係機関等が連携して、自主防犯活動を推進する為、安全安心パトロールの活動拠点、市民安全情報の発信等、地域防犯活動の拠点としての機能を持たせた市民安全センターを維持管理し、自主防犯活動に対する支援を図ることにより、犯罪の発生を抑止する。	
	対 象	市民	
	根拠法令・関連計画 等	印西市市民安全センターの設置及び管理に関する条例、同施行規則	
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域安全安心パトロールの実施</li> <li>・防犯活動のための「活動拠点」「市民安全情報」の提供</li> <li>・防犯活動及び活動に対する支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印西市防犯パトロール隊による地域安全パトロールを実施</li> <li>・「市民安全情報(犯罪発生状況)」を年36回配信</li> <li>・防犯研修会の実施</li> <li>・防犯関連物資の展示、配布による啓発</li> </ul>

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						185,000
予算現額							185,000	185,000
決算額							148,211	148,211

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	市民安全情報の配信	回	目標値	36	36	36	36
			実績値	36	36	36	36
	防犯パトロール回数	回	目標値	132	144	144	144
			実績値	292	935	701	643
成果指標	行政と地域住民及び関係団体が連携して防犯活動を実施することで犯罪を減少させることを目標とする。		目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	<b>B ほぼ目標値どおりである</b>	
成果に対する評価	<b>F 計画なし(目標設定なし)</b>	印西市内の刑法犯認知件数が951件から、781件になり、170件減少した。
総合的な評価	<b>B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった</b>	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	刑法犯認知件数は減少傾向であるものの、防犯パトロールや啓発活動を今後も継続し、更なる減を目指す。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	26
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	交通安全啓発事業		
	担当部署名	市民部市民安全課 市民安全班		
	款項目及び予算名	2款1項8目 交通安全対策費	新市基本計画	
	予算事業名	交通安全対策事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 4 交通安全対策の推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	社会情勢や交通事情の変化に応じた交通安全施設等の整備を進めていきます。また、市民の交通マナーの向上を図っていくとともに、交通弱者である高齢者や園児・児童・生徒への交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止につなげていきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	市民一人ひとりの交通安全意識の普及および啓発活動を実施することにより、特に交通弱者と呼ばれる高齢者や児童等が被害者となる交通事故の減少に努める。		
	対 象	市民		
	根拠法令・関連計画 等	印西市交通安全計画、 印西市自転車の安全・安心利用に関する条例		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	【交通安全教室】 ・保育園、幼稚園、小中学校、高齢者クラブ 【交通安全啓発活動】 ・交通パトロール ・交通安全運動期間中の啓発活動 ・アクション10に伴う啓発活動 ・各推進運動に伴う啓発活動 【自転車安全利用啓発活動】 ・自転車安全の日に伴う街頭啓発活動 ・自転車安全安心利用啓発活動	【交通安全教室】 ・保育園、幼稚園 24回、小中学校 30回、高齢者クラブ 10回 【交通安全啓発活動】 ・交通パトロール 209回 ・交通安全運動期間中の啓発活動 10回 ・アクション10に伴う啓発活動 6回 ・各推進運動に伴う啓発活動 2回 【自転車安全利用啓発活動】 ・自転車安全の日に伴う街頭啓発活動 5回 ・自転車安全安心利用啓発活動 4回	

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						9,484,000	9,484,000
		予算現額						9,484,000	9,484,000
		決算額						8,279,649	8,279,649

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	交通安全教室の実施回数	回	目標値	62	64	66	70
			実績値	63	62	63	64
	街頭啓発回数	回	目標値	20	20	22	24
			実績値	18	24	22	29
成果指標	交通指導員による交通パトロール日数	日	目標値	250	250	250	250
			実績値	225	211	195	209
	印西市内での交通人身事故発生件数	件	目標値	350	330	320	300
			実績値	295	262	228	221
			目標値				
			実績値				

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	交通人身事故発生件数は、減少傾向ではあるものの、交通安全教室や街頭啓発を行い、今後も更なる減を目指す。

## 平成27年度分 実施計画事業評価票

1. 事業の概要			事業番号	27
事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	放置自転車等対策事業		
	担当部署名	市民部市民安全課 市民安全班		
	款項目及び予算名	2款1項8目 交通安全対策費	新市基本計画	
	予算事業名	放置自転車等対策事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 4 交通安全対策の推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	社会情勢や交通事情の変化に応じた交通安全施設等の整備を進めていきます。また、市民の交通マナーの向上を図っていくとともに、交通弱者である高齢者や園児・児童・生徒への交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止につなげていきます。		
事業内容等	事業年度	平成6年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	自転車等の交通にかかる事故の防止と交通の円滑化並びに駅前広場等の良好な環境確保を図り、放置禁止区域における放置自転車等の撲滅を目指す。		
	対 象	市民		
	根拠法令・関連計画 等	印西市自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の附置義務に関する条例		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
	平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看板等による放置禁止の啓発活動</li> <li>・放置禁止区域での指導巡視活動</li> <li>・放置自転車の撤去活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看板等による放置禁止の啓発活動</li> <li>・放置禁止区域での指導巡視活動</li> <li>・放置自転車の撤去活動</li> </ul>	12回 265回 57回

### 2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					105,000	7,206,000	7,311,000
		予算現額					105,000	7,206,000	7,311,000
		決算額					84,000	6,582,159	6,666,159

### 3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	放置自転車の撤去	回	目標値	70	250	250	250
			実績値	150	138	89	57
	啓発活動	回	目標値	12	12	12	12
			実績値	12	12	12	12
	放置自転車の指導・巡視	回	目標値	250	300	300	300
			実績値	359	354	279	265
成果指標	放置自転車撤去の1回あたりの平均台数	台	目標値	3	1	1	1
			実績値	2	2	2	4
	千葉NT中央・牧の原駅圏の放置自転車撤去台数	台	目標値	100	270	240	220
			実績値	264	232	242	131
	木下・小林駅圏の放置自転車撤去台数	台	目標値	12	30	30	20
			実績値	16	14	18	34

### 4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	<b>B ほぼ目標値どおりである</b>	
成果に対する評価	<b>B ほぼ目標値どおりである</b>	
総合的な評価	<b>B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった</b>	

### 5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	放置自転車を減らすため、放置禁止区域での指導および巡視活動を継続していく。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	28
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	交通安全対策施設整備事業		
	担当部署名	都市建設部土木管理課 維持班		
	款項目及び予算名	2款1項8目 交通安全対策施設整備事業	新市基本計画	
	予算事業名	交通安全対策施設整備事業	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - - 4 交通安全対策の推進	スマイルプラン	スマイル2
	施策の方向性	社会情勢や交通事情の変化に応じた交通安全施設等の整備を進めていきます。また、市民の交通マナーの向上を図っていくとともに、交通弱者である高齢者や園児・児童・生徒への交通安全意識の高揚を図り、交通事故の防止につなげていきます。		
事業内容等	事業年度			
	事業の実施目的及び概要	警戒標識や反射鏡等の交通安全施設の整備を行い、交通の円滑化と安全性の確保及び事故防止に努める。		
	対象	道路利用者		
	根拠法令・関連計画等	第9次印西市交通安全計画		
		年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果
	平成27年度	・市職員による巡回や町内会要望などで把握した箇所について現地確認の実施 ・反射鏡、区画線、標識及びガードレール等の設置	区画線工 13,204.2m 道路反射鏡(修繕) 9基/道路反射鏡(新設) 4基 ポストコーン 43本 ガードレール 87m等	

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	積算額 (当初予算額)					23,106,000	23,106,000
		予算現額					23,106,000	23,106,000
		決算額					22,293,630	22,293,630

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	交通安全施設対応率 (必要箇所 / 実施箇所)	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
		目標値					
		実績値					
成果指標	交通安全施設の整備を行い、交通の円滑化と安全性を確保する。	目標値		0	0	0	0
		実績値		0	0	0	0
		目標値					
		実績値					

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	F 計画なし(目標設定なし)	交通安全施設の整備を行い、交通の円滑化と安全性を確保する観点から、数値的な目標なし
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	千葉ニュータウンやその他地区での開発や合併による管理区域の大幅な拡大に伴い、要望件数や対応が必要な箇所数が増加している。現場の状況を確認し、危険が予測される優先度の高い箇所から対応している。

平成27年度分 実施計画事業評価票

事業番号	29
------	----

1. 事業の概要

事業名及び 担当部署等	実施計画事業名	消費生活相談事業		
	担当部署名	環境経済部経済政策課 経済政策班		
	款項目及び予算名	6款1項3目 消費者行政推進費	新市基本計画	
	予算事業名	消費者行政推進事務に要する経費	主要事業	
基本計画における 位置付け	関連する施策名	1 - 5 消費者保護の推進	スマイルプラン	
	施策の方向性	印西市消費生活センターを拠点として、消費生活に関する情報提供や相談、講座の充実を図ることでトラブルを未然に防げる賢い消費者づくりを進め、消費者被害の防止を図っていきます。		
事業内容等	事業年度	平成元年度から実施		
	事業の実施目的及び概要	消費生活に関する各種相談に際し、適切かつ迅速な処理を行い、消費者が安心して生活できる環境をつくとともに、消費者の保護と育成を図る。		
	対象	市民		
	根拠法令・関連計画等	印西市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例、印西市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例施行規則		
	年度	年度計画の内容	年度の事業実績・成果	
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙等を通じた市民への意識の啓発</li> <li>・消費生活センターによる相談の実施</li> <li>・消費生活講座の実施</li> <li>・持ち込み食品、飲料等の放射性物質検査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報紙へ啓発記事4回掲載</li> <li>・新規相談件数411件</li> <li>・消費生活講座等7回開催</li> <li>・放射性物質検査29件</li> </ul>		

2. 事業費の財源内訳

財源内訳(円)	年度	区分	国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源	事業費計	
	平成27年度	積算額 (当初予算額)						3,581,000	3,581,000
		予算現額						3,581,000	3,581,000
		決算額						3,224,337	3,224,337

3. 指標及び実績値

指標内容		単位	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	相談開設日数	日	目標値	195	195	195	195
			実績値	195	195	243	243
	広報紙等による啓発等実施回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
	講座実施回数	回	目標値	4	4	4	4
			実績値	5	6	5	7
成果指標	相談件数(新規分)	件	目標値	200	200	200	200
			実績値	266	328	388	411
	講座受講人数	人	目標値	80	80	80	80
			実績値	56	151	78	316
			目標値				
			実績値				

4. 事業に対する評価

評価項目	評価値	備考(評価結果へのコメント 又は項目についての課題)
活動に対する評価	B ほぼ目標値どおりである	
成果に対する評価	A 目標値を上回る	
総合的な評価	B ほぼ計画どおりの事業実績・成果であった	

5. 今後の方向性

今後の方向性	選択理由及び今後の具体的な取り組み内容
1 事業継続(現行のまま継続)	相談件数の増加や相談内容の多様化、複雑化などに対応するため、相談体制を整える。また、消費生活に関する情報提供や相談、消費生活講座等の充実を図り、消費者被害の防止に努める。